

# 戦争法案強行採決

# 主権者無視の大暴挙

# 国民的共同を大きく広げ廃案に追い込もう！



夕方デモにも参加



北海道・小樽駅前  
で緊急の訴え  
いわぶち友参院比例候補  
15日



7/16 青森市協立病院前で訴え(衆院本会議退席後、東京→青森を往復)

高橋ちづ子衆院議員  
16日夕方に青森市で  
緊急の国会報告街頭演説

7/18(土)12:15~13:00  
仙台市旧みずほ前で訴え  
弁士 高橋ちづ子衆院議員  
県議、仙台市議候補

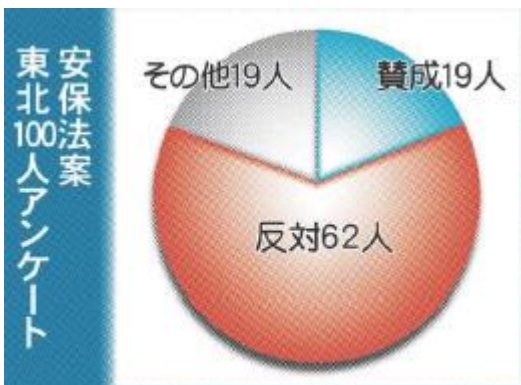
十六日付け  
東北地方紙の社説・論説

- 【東奥日報】 「安保法案特別委採決」国民世論無視して強行
- 【デーリー東北】 「安保法案可決」立憲主義踏みにじる暴挙
- 【秋田魁新聞】 「安保特別委採決」国民の思いを置き去り
- 【岩手日報】 「安保法案可決」民意を踏みにじる強行
- 【河北新報】 「安保法案強行可決」国民の理解は後回しなのか
- 【福島民報】 「安保法案可決強行」違憲の疑いは消せない



## 「河北新報」緊急アンケートから

＜安保法案＞若者に広がる不安 反対6割



安保法案をめぐる賛成、反対、その他の主な理由

「あまりにも憲法を軽視している」「米国との同盟を強化すべきだ」。集団的自衛権行使の解禁を柱とする安全保障関連法案が15日、衆院平和安全法制特別委員会で自民、公明両党の賛成により可決された。河北新報社は東北の未来を担う10～30代の100人に緊急アンケートを行い、「国の在り方」を変える可能性を秘めた安保法案をどう見ているのか意識を探った。アンケートは東北6県の取材網を通じ14、15の両日実施。男性53人、女性47人から回答を得た。年代別は10代23人、20代43人、30代34人だった。安保法案に「反対」は回答者の約6割に上り、与党単独での強行採決に批判的な声が多かった。「賛成」は約2割で、米国との同盟重視、中国や北朝鮮の潜在的な脅威を主な理由に挙げた。男女比で見ると「反対」は女性の約7割、男性は6割弱。「賛成」は女性が約1割にとどまったのに対し、男性は約3割に上り、法案に対する女性の支持が男性より低かった。

東北ブロック ニュース

2015  
7/17  
4号

日本共産党 国会議員団東北ブロック事務所  
〒980-0021 仙台市青葉区中央四丁目3-28 朝市ビル4階  
電話=022-223-7572 FAX=022-264-2596  
E-mail: toblock@rose.ocn.ne.jp